

第12回高校生ものづくりコンテスト全国大会が開催されました

自動車整備部門において大分県代表が見事準優勝!

11月18日(日)に第12回高校生ものづくりコンテスト全国大会が、北信越地方で行われました。
(自動車整備部門は長野県の松本情報工科専門学校で実施)

この大会は、近年の若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれているなか、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することを目的としています。

また、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、社団法人全国工業高等学校長協会が毎年行っている大会で今回で12回目となります。

昨年9月号でもお知らせしましたように、7月15日には大分県において九州大会が行われ、鶴崎高等学校機械科の須川滉道さんが優勝し全国大会の切符を手に入れました。

九州大会後は、就職活動もあって中々全国大会に向けての実技練習ができなかったようですが、それでも忙しい中、古賀先生が毎日のように学科問題を用意し、ほぼ完璧にできるようになるまで訓練を重ねたようです。

就職が決まった10月に入り、実技に向けての時間も取れるようになったということで連絡をもらい、振興会としても全面的なバックアップを行うようにしていましたので、各課題である、測定作業、定期点検、故障診断について特訓を行いました。

須川さんは基礎的な学力がある上に、呑み込みもよく、一度教えたことをすぐに理解して応用できる青年であり、全国大会での活躍に希望が持てました。

競技の内容ですが、九州大会と同じく、課題Ⅰは学科問題で残りの3つの課題は実技競技です。(課題Ⅱは測定作業、課題Ⅲは定期点検、課題Ⅳは故障診断)

それぞれ100点満点で合計400点満点で競いあいました。

各課題は25分で、課題Ⅳではスキャンツールを使つての故障診断もあり、高校生としてはとてもレベルの高い大会です。

大会会場が長野県ということで移動時間がかなりかかり、体調や健康面で心配がありました。16日に大分を出発し、17日には開会式、事前説明会と無事に済ませ大会に備えました。

18日は8時までに集合し、9時からの競技開始です。

課題Ⅰの学科は、25分で40問を解かないといけなかったのですが、これは1問当たりで考えると、国家試験の半分以下の時間で解答していかなければならないという過酷さです。

しかし、毎日の特訓の成果もありほぼ満点を取ったのではないかというほどの自信があったそうです。

課題Ⅱの測定作業は、クランクシャフトの曲がり、コンロッド大端部の内径、IGコイル1次コイル・2次コイルの抵抗、オイルポンプの各クリアランス、コンロッドベアリングのオイルクリアランスと、こちらも時間の割には多くの測定作業があり、時間との勝負のようでしたが、練習ですべて行っていたこともあり、こちらもかなりの手ごたえがあったそうです。

現車(プロシードマービー)を用意出来ずに心配していました課題Ⅲの定期点検ですが、特に

戸惑うこともなく、点検内容も何度も行ったものばかりだったということでした。時間内にはすべての点検も終え、大きなミスもなかったようです。

課題Ⅳの故障診断は2ヶ所の不具合設定を行っている車の不具合箇所を見つけるという整備士顔負けのものでしたが、無事2ヶ所とも不具合箇所を見つけることができましたようです。

引率された古賀先生の話では、須川さんは落ち着いて競技に向かうことが出来たそうですが、最初の課題で、本来、解答用紙に書くべきものを問題用紙の解答欄にしか書いておらず、最後になってそのことに気がついて、解答欄を埋めたというアクシデントがあったほかは安心して見ていられたそうで、須川さんの出来具合や他の選手の熟練度や点検時の動きから、密かに入賞の期待が持てたそうです。

ただ、自動車整備部門は、三重県立松阪工業高等学校が5連覇中と圧倒的な力を誇っており、今回も優勝候補の筆頭です。

また、広島市立広島工業高等学校が2年連続2位（過去4度の2位）と上位は常連校で占められており、上位入賞はとても難しい部門でしたが、表彰式では見事に2位に名前が呼ばれ、大分県代表としては初めて自動車整備部門に出場し、さらに2位入賞という快挙を成し遂げました。

この全国大会は7つの部門で競技が行われ、九州代表として大分県からは5名が出場しましたが、入賞は須川さんと電子回路組立部門に出場した同じ鶴崎工業高校の廣戸誠也さん（3位）でした。

なお、全国大会予選を兼ねた九州大会は来年度も大分で行われる予定です。当会としては、引き続き自動車整備部門についての協力を行っていく予定です。

【成績】

機械系	自動車整備部門（国土交通大臣賞）	
優勝	山本 翔麻	三重県立松阪工業高等学校
準優勝	須川 滉道	大分県立鶴崎工業高等学校
3位	芦田 伸彦	広島市立広島工業高等学校



見事、準優勝に輝いた須川滉道さん



課題Ⅱの測定作業においてマイクロメータスタンドをセットしている所



課題Ⅲの定期点検においてブレーキパッドの点検を実施



課題Ⅳの故障診断において待機中